

コロナと付き合い活動

県経済同友会、鈴木筆頭代表幹事ら抱負



就任の抱負を語る鈴木良春筆頭代表幹事(左から2人目)
＝岐阜市長良、岐阜グランドホテル

東海環状道で新委員会設置

県経済同友会の筆頭代表幹事に就いた鈴木良春氏(68)＝鈴木刃物工業社長＝は16日、岐阜市内で就任会見を開き、「新型コロナウイルスで社会が変化し、ビジネスモデルをどう変えていくかが喫緊の課題。新型コロナウイルスと付き合いながら経済活動をしていく」と抱負を語った。

海環状自動車道を考える委員会」「地方のデジタル化

本年度の主要事業は「東

を考える委員会」を設置し、提言をまとめる。鈴木氏は東海環状道について「人生100年時代など現代社会のトレンドを踏まえ、どう活用するかを提案する」と強調した。

一方、代表幹事に就任した柳原幸一氏(69)＝鵜飼会長＝は「行動力、実行力を提言実現のために発揮したい」、境敏幸氏(63)＝大垣共立銀行頭取＝は「厳しい時代こそ役に立てよう筆頭代表幹事を支えたい」とそれぞれ抱負を述べた。筆頭代表幹事を退任した中村源次郎特別幹事(68)＝秋田屋本店社長＝も同席し「県経済同友会がオピニオンリーダーとして社会に貢献し続けることを期待したい」とエールを送った。